

の削減など歳出経費の節減に努めるとともに、第4次総合振興計画（第3期実施計画）に基づき、各種事業の着実な推進を図るべく効率的な施策の展開を基本とした予算編成を行ったところであります。

なお、国民健康保険特別会計への赤字補てんとして平成19年度5461万円、平成20年度5370万円が一般会計から繰り出しされており、平成21年度も前年度を大幅に上回る繰り出しが想定されることから一般会計の基金が底をつき平成23年度以降の一般会計予算編成が困難な状況になっていくことから、関係者による早急な対応策を検討していく必要があるものと考えております。

また、本町の町税の徴収率が極めて厳しい状況にあることから、収納対策室を設置したところですが、平成22年度に専任の室長及び徴収嘱託員を配置することにより徴収率の向上を図り財源を確保していきたいと考えております。

次に平成22年度歳入歳出予算の概要について申し上げます。

1 歳入予算について

町税につきましては、前年度の実績を踏まえ、2億9657万円を計上しております。地方交付税については、大綱で申し上げた動向等を参考に18億6000万円を計上してありますが、この内普通交付税については、前年度当初予算額に対し、約1・15%増に当たる17億6000万円を計上し、特別交付税については、昨年度と同額の1億円を計上してあります。また、国庫支出金については、安心こども基金事業費補助金3290万円等の新規事業により前年度比7722万円の増額、また県補助金は重点分野雇用創出事業補助金5976万円やさとうきび産地活性化実践事業補助金1539万円等の新規事業により前年度対比1億85万円の増額となっております。町債については3億8344万円を計上してあります。この内臨時財政対策債の計上額は、1億6000万円となっております。

使用料、手数料及びその他の収入については、それぞれ従来の実績等を考慮し、見込み得る額を計上してあります。なお、予算編成を通して生じた財源不足額については、財政調整基金から、9933万円を繰入して、対応することとしております。

2 歳出予算について

歳出予算については、予算編成の大綱で申し上げたことを基に、平成22年度一般会計当初予算規模は、34億7221万円となり対前年度比約6%の増となっております。

主な新規事業としては、ハレルヤ幼稚園建設費補助金4935万円、さとうきび産地活性化実践事業1539万円、岸元地区営畑総負担金315万円、古里地区水質保全対策事業負担金495万円、農地有効利用支援整備工事費1940万円、伝名地区舗装工事費1305万円、ゆんぬ体験館施設工事費4000万円、宇和寺団地4号棟整備工事費1億2476万円、防災無線個別受信機費1200万円等を計上してあります。また、特別会計の予算規模は、15億2885万円、水道事業会計は、1億7299万円となっております。

町政の推進体制

1 行政改革について

- (1) 指定管理者制度導入に向けた調査検討会の実施
- (2) 与論町公式ホームページの充実

2 財政改革について

予算編成の大綱で申し上げたとおり、歳入の的確な把握に努めるとともに事務事業等の精査を行い、人件費・物件費の削減を引き続き行うと共に、税収確保のため収納対策室を中心とした徴収率向上に更なる努力を重ねて参ります。

特に本年度は、緊急雇用創出事業及び重点分野雇用

3 住民参画の体制強化

週報やホームページ等の情報公開による意見聴集や意見反映に努めるとともに、各種委員会や懇談会等で幅広く町民のご意見を拝聴して参ります。

なお、平成23年度からの第5次総合振興計画策定に伴い広範囲にわたる意見聴集に努めて参ります。

